

徳之島町誌編さん だより

(徳之島町内全戸配布)

第10号 2020.08.10



徳之島の「先史・古代・中世」

—島々に起こった文化現象の劇的な展開をどうとらえるか—

徳之島町誌先史・古代・中世部会 部会長

たかみや ひろと
高宮 広土 (鹿児島大学国際島嶼教育研究センター教授)

前回『徳之島町誌』が刊行されたのは50年も前だ。この50年間にはいろいろなことが起こり、今回の新しい町誌はそれらの話題で満載になるであろう。この点は「先史・古代・中世」という分野にも当てはまる。いやこの分野は50年といわず、この10年~20年で目をみはる進展があった。その進展を紹介する前に、町民の皆様を知っていただきたいことは、徳之島も含め奄美諸島に人が住み始めて今日までの歴史のうち、「先史・古代・中世」(約3万年前から西暦15世紀ころまで)は奄美諸島の歴史の95%以上を占めている点である。それゆえ、この期間(一般の方々には遠い昔かもしれませんが)を理解する価値は十分にあると思う。ヒトはいつごろ島に住み始めたのか、彼らはどのようにして島で生活を営んだのか、彼らは孤絶の中で生きていたのであるかあるいは海は外界に通じる道だったのであるか、と。

これらの問いへの答えも興味深いが、奄美諸島および沖縄諸島という島嶼群を「島」として考察し、世界の他の島々と比較するときわめて稀代(きだい)な文化現象があったことが最近の研究で判明しつつある。例えば、これらの島々には狩猟・採集・漁労を糧(かて)とする人々が数千年間も生存していた。奄美・沖縄諸島のような島々で、狩猟・採集・漁労民がいた島は世界的にほとんど知られていない。また、多くの島々では人間集団が暮らし始めてすぐに環境破壊あるいは劣悪化が報告されており、世界的には「人間集団の植民」イコール「島嶼環境の破壊・劣悪化」は常識となっている。しかし、奄美・沖縄諸島ではごく最近までこのような環境破壊・劣悪化は認められていない。自然と調和していたのかもしれないのである。他にもあるが、それは町誌の中できちんと説明していきたい。

徳之島では奄美大島や沖縄諸島とともに「世界自然遺産登録」を目指しているが、この地域における「先史・古代・中世」はある意味、世界自然遺産に匹敵する可能性がある。その可能性を新進気鋭の若い執筆者やこの分野に精通した研究者とともに紐(ひも)解いていくのがこの分野の目標である。

(令和2年6月26日成稿)

『徳之島町史』の構成と刊行時期

※ いずれも価格は未定

町誌の「再」編さん事業が始まってから3年近くが経ちました。すでに本紙の「号外」を通じてご存知かもしれませんが、この場を借りて町民の皆さまに再度お知らせいたします。これまでに決まった町誌の「刊行巻の構成」と「刊行の時期」は以下のとおりです。

●自然編 A4版、並製本カバー装、200頁、令和3年9月刊行（予定）

奄美・沖縄の世界自然遺産の登録をめぐって、今、世界が注目。地質・動物（動物・昆虫・海中生物）・植物の最新の調査成果から、徳之島の自然についてコンパクトにまとめた一書。カラー写真・図版多数掲載。

●地域編 A4版、並製本カバー装、250頁、令和4年3月刊行（予定）

徳之島町内の主要集落（旧村単位）を対象に、地域の特色や伝統文化についてコンパクトにまとめる。今の徳之島町の景観と今の住民の姿を知るのに欠かせない、島の魅力が詰まった一書。

●通史編 B5版、上製本クロス装、函入り、800頁、令和4年12月刊行（予定）

近年、とくに研究の進んだ徳之島の歴史研究。島内の考古学の最新成果や、新出史料の解読の成果等を活かして、先史時代から現代（平成）までを通覧する。昭和45年に刊行された『徳之島町誌』の発展版。

●副読本 版型未定、並製本、100頁程度、令和5年度刊行（予定）

自然編・地域編・通史編の執筆者や町内学校の先生方が厳選した「徳之島町の歴史」50選！小・中学生にぜひとも知ってもらいたい島の歴史と文化。町内小・中学生に無償配布を予定。一般読者向けにも販売を計画。

【これまで発刊された町誌刊行物】

●徳之島町誌叢書（既刊2冊、非売品）

- 『徳之島町史』基礎資料集 平成31年3月刊（在庫なし）
- 『徳之島町域「農村調査」報告集 一鹿児島高等農林学校学生調査一』 令和2年1月刊（在庫僅少）

※ すでに町立図書館、もしくは町内小・中学校、各地区駐在員宅あてに配布しています。興味のおありの方は最寄りの場所でご覧ください。

町誌編さん事業日誌（抄）

年	月日	内容
令和2年	5月14日	母間小学校所蔵資料調査。
	7月5日	民俗部会・地域文化部会合同会議開催（調査の進捗状況の確認、調査内容の確認）。
	7月27日	自然部会会議開催（編目案の検討、執筆分担・分量の確認、執筆要綱の確認）。

今後の町誌編さん事業予定

年	月日	内容
令和2年	8月以降	徳之島町誌編さん審議会会議開催（委員の委嘱更新、各部会活動の報告等）。 近現代部会会議開催（執筆分量の確認、執筆要綱・注意点の確認）。 先史・古代・中世部会会議開催（調査の進捗状況の確認、執筆要綱の確認）。
	12月	近世部会会議開催（調査の進捗状況の確認、執筆要綱の確認）。

徳之島町 町誌編さんだより 第10号

〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 2918

徳之島町生涯学習センター3階（徳之島町郷土資料館内） 電話番号：0997-82-2908

徳之島町誌編纂室

本紙編集担当：大村達郎

※ 徳之島町役場では、条例等の法令名や、事業名・部署名については「編纂（へんさん）」の表記を使用しています。本紙では、発行元名を除いて、町民への広報としての役割から「編さん」の表記で統一しています。なにとぞご了承ください。

※ 徳之島町誌編さん事業は、全国の皆さまから寄せられた「ふるさと納税」の一部を活用しています。